

## 再発防止策の進捗状況 (2019年9月30日時点)

### 進捗状況の分類

着手 具体策の詳細検討中 **実施中** 具体策の実施中 **完了** 具体策の完了 **その他** 状況に応じて対応

※更新箇所は、No欄をハイライトしております。

### (3) 検査体制・方法の改善

#### ①検査体制

##### i) 品質保証機能の独立性強化

▶戻る

具体策			
KSMにおいて、品質保証部が性能検査及び立会検査の全てを実施し、その結果を管理する等、製造部門から独立した部署による品質検査の実施を行う。また、全社・全グループにおいて最終合否判定に関わる検査員を製造部門以外への所属とする等、品質検査の独立性も強化する。			
No	詳細	実施または完了予定年月	進捗状況
40	a. KSMでは、性能検査及び立会検査の全ての検査を品質保証部員が実施する体制にしております。	2019年1月	<b>完了</b>
41	b. 当社及びKSM以外の国内グループ企業に対して、最終合否判定の検査をしている従業員の現状調査を実施しました。今後、その結果を踏まえて製造部以外の所属とする等を行うことで品質検査の独立性を強化してまいります。	2020年3月	<b>実施中</b>

##### ii) オイルダンパー立会検査時の検査方法の改善

▶戻る

具体策			
本再発防止策に基づく品質管理方法が確立するまでの間、減衰性能検査における第三者機関の全数立会検査を継続する。併せて、立会検査の代替方法として、第三者機関が生データを外部から随時チェックできる仕組み等の検討も行う。			
No	詳細	実施または完了予定年月	進捗状況
42	a. 第三者機関による全数立会検査を継続中です。また、希望する発注者様による立会検査も実施しております。	2018年11月	<b>実施中</b>
43	b. KSMでは、新検査システムのオイルダンパー加振装置※1の設置を完了し、検査装置※2と合わせて試運転を10月以降に行う予定であります。その後、発注者様及び発注者様が指定する第三者機関が社外のサーバを介して検査情報のチェックができる仕組みを、第三者の評価を得ながら、本稼働に移行してまいります。また、既設の全検査機の同システムへの移行も順次行います。  ※1…オイルダンパーを加振させ、位置・荷重等の加振データを測定する機械・装置であり、動力盤、油圧源、アクチュエータ、ロードセル等で構成される ※2…プリンター及びオイルダンパー加振装置の駆動信号、測定結果の読み・保管等を行う性能評価ソフトウェア等で構成される	2020年4月	<b>実施中</b>

##### iii) 検査マニュアルの整備

▶戻る

具体策			
オイルダンパーを含む当社グループ全製品の全検査行程にて、熟練検査員のカン・コツに頼っていた検査・判断をマニュアルとして整備する。			
No	詳細	実施または完了予定年月	進捗状況
44	当社及び国内外グループ企業は、検査工程において熟練検査員のカン・コツに頼っていた検査・判断に関するマニュアルを整備し、当社品質本部がそのマニュアルの確認を行っております。9月までに当社の全6拠点、国内グループ企業全6社及び海外グループ企業全7社の確認を完了しました。	2020年3月	<b>実施中</b>

## ②検査機の不正防止措置

### i) オイルダンパー検査機のソフトウェア変更の社内手続厳格化

▶戻る

具体策			
オイルダンパー検査機のソフトウェア変更手続きについて、K Y B 本社品質管理部の承認取得を義務づける。			
No	詳細	実施または完了予定年月	進捗状況
45	オイルダンパー検査機では、検査システムのソフトウェア変更の際は、当社の品質本部の承認を必要とする旨の「変更管理規則」の改定を実施いたしました。	2019年4月	完了

### ii) オイルダンパー検査機ソフトウェアの定期的モニタリング

▶戻る

具体策			
品質保証部等の製造部門から独立した部門による品質監査でオイルダンパー検査機のソフトウェアの状況を定期的にモニタリングする。			
No	詳細	実施または完了予定年月	進捗状況
46	当社品質本部にて、KSMに対してオイルダンパー検査機のソフトウェアの独立的監査を、毎月実施しております。	2019年3月	実施中

### iii) 人為作業を介さない検査結果の自動記録化

▶戻る

具体策			
性能確保に必要な生データ（設定値、入力値、計測データ等）を検査機内に自動的に保存するとともに、個々の製品が世の中で使用されている期間は本データを外部記憶媒体内（サーバなど）に自動的に保存される仕組みを導入する。			
No	詳細	実施または完了予定年月	進捗状況
47	KSMでは、新検査システムのオイルダンパー加振装置の設置を完了し、検査装置と合わせて試運転を10月以降に行う予定であります。その後、人為作業を介さず生データ（設定値、入力値、計測データ等）を社内及び社外のサーバに自動的に保存される仕組みを、第三者の評価を得ながら、本稼働に移行してまいります。また、既設の全検査機の同システムへの移行も順次行います。	2020年4月	実施中

### iv) 検査プロセスの自動化推進

▶戻る

具体策			
検査成績書出力までの検査プロセスを自動化することにより、データ改ざん防止の仕組みを導入する。また、抜き打ちで品質管理部門の責任者が生データと検査成績書を照合する等、チェックできる仕組みを導入する。			
No	詳細	実施または完了予定年月	進捗状況
48	a. KSMでは、新検査システムのオイルダンパー加振装置の設置を完了し、検査装置と合わせて試運転を10月以降に行う予定であります。その後、人為作業を介さず検査成績書出力までの検査プロセスを自動化する仕組みを、第三者の評価を得ながら、本稼働に移行してまいります。また、既設の全検査機の同システムへの移行も順次行います。	2020年4月	実施中
49	b. 現在、当社品質本部にて、KSMに対して抜き打ちで検査成績書と生データを照合する独立的内部監査を毎月実施しております。また、同監査は「新検査システム」の構築後も継続いたします。	2019年3月	実施中

### v) オイルダンパー検査機へのアクセス管理の強化

▶戻る

具体策			
生データへのアクセスが特定の者に制限されている仕組み、および第三者機関が生データを外部から随時チェックできる仕組みを導入し、生データの保全措置を図る。			
No	詳細	実施または完了予定年月	進捗状況
50	KSMでは、新検査システムのオイルダンパー加振装置の設置を完了し、検査装置と合わせて試運転を10月以降に行う予定であります。その後、生データへのアクセスを特定の者に制限しつつ、第三者機関が生データを外部から随時チェックできる生データの保全措置を、第三者の評価を得ながら、本稼働に移行してまいります。また、既設の全検査機の同システムへの移行も順次行います。	2020年4月	実施中

## 具体策

オイルダンパーの製品の検査履歴・要求性能・生データを記録する媒体をオイルダンパー本体に装着するなど追跡調査可能化の検討を行う。

No	詳細	実施または完了予定年月	進捗状況
51	KSMでは、新検査システムのオイルダンパー加振装置の設置を完了し、検査装置と合わせて試運転を10月以降に行う予定であります。その後、オイルダンパーそれぞれの要求仕様及び検査結果をシリアル番号で一元管理し追跡調査可能な仕組みを、第三者の評価を得ながら、本稼働に移行してまいります。また、既設の全検査機の同システムへの移行も順次行います。	2020年4月	実施中